

鎌倉交響楽団

第81回定期演奏会

2003年6月22日(日)
午後2時開演
鎌倉芸術館

【後援】鎌倉市教育委員会・鎌倉エフエム放送

プロフィール

指揮 / 三原明人 (みはらあきひと)



1961年東京生まれ。ヴァイオリン、ピアノ、作曲を学び、東京芸術大学でヴィオラを専攻、その後桐朋学園、ウィーン国立音楽大学で指揮法を小沢征爾、秋山和慶、尾高忠明、カール・エステルライヒャー、ヴァーツラフ・ノイマンの各氏に師事。さらにイタリア・シエナのキジアーナ音楽院、アッジジのレスピーギ音楽院のマスター・クラスにも参加、ゲンナジ・ロジェストヴェンスキー、モリシェ・アツモン各氏に師事した。1989年、オランダで行われた「第2回キリル・コンドラシ国際青年指揮者コンクール」で第2位、1993年ドイツ・ハレで開かれた若手指揮者養成のための“DIRIGENTEN FORUM”で最優秀ファイナリスト、1996年ポルトガルで行われた「第8回リスボン国際青年指揮者コンクール」で第3位(1位なし)にそれぞれ入賞。在学中より指揮活動を始め、またヴィオラ奏者としても活躍。1985年ニューヨーク・カーネギー・ホール主催の現代日本作曲家コンサート、武満徹プロデュースの「ミュージック・トゥデイ」(銀座セゾン劇場)などに出演、また1987年のサイトウ・キネン・オーケストラ・メンバーとしてヨーロッパ公演に参加などしていたが、1989年オランダ放送フィルを指揮してアムステルダムでデビュー以来、指揮活動に専念。1989/1990のシーズン、ウィーン・フィルでレナード・バーンスタインのアシスタント、1991年よりオペラ作品などで外山雄三、広上淳一各氏のアシスタント、また1996年ベルリン・フィル来日公演でクラウディオ・アバドのアシスタントを務めるなど研鑽を積みながらヨーロッパと日本を中心に各地で活躍。これまでにオランダ放送フィルのほか、ドイツ・ハレ国立フィル、ブタペストMAV響、リスボン・メトロポリタン響、フィンランド・クオピオ響、また日本では東京都響、読売日響、日本フィル、東京フィル、札幌響、山形響、群馬響、神奈川フィル、名古屋フィル、大阪センチュリー響、広島響、オーケストラ・アンサンブル金沢など各地に客演、コンサートやTV・ラジオなどへの放送録音、CD・映画音楽製作など各方面から高い評価を得ている。また名古屋二期会でのモーツァルトの演奏会形式オペラ上演や、東京国際コンクール声楽部門優勝のアレクセイ・レブチンスキーのコンサートをサポートするなど、オペラの分野においても積極的に活動、1991年には愛知県立芸術大学管弦楽団指揮者として後進の育成にも努めた。1997年フィンランド・クオピオ響を率いて来日公演を行い、13曲にも及ぶオール・シベリウス・プログラムを指揮して高く評価された。1998年にはブルガリアの名門ソフィア・フィルにデビュー、ペーターベン、ブラームスなどの作品でソフィアの聴衆を熱狂させた。近年ではミサ曲、レイクエムなどの宗教作品にも取り組み、その芸の幅をさらに広げつつある。現在作曲活動は休止状態にあるが、芸大在学中に作曲された「ヴィオラとオーケストラのための前奏曲(1983)」(同年作曲者独奏初演)は同年度の尾高賞作品と共にN響機関紙「フィルハーモニー」誌上で紹介された。今後の活躍が大きく期待される注目の指揮者の一人。

トレーナー(敬務席)

小泉 智彦、高山 康利、平林 剛

♪今回の演奏会にあたり、上記の諸先生方にもご指導いただきました。

鎌倉交響楽団第81回定期演奏会

Kamakura Symphony Orchestra The 81th Regular Concert

プログラム

歌劇「オベロン」序曲

"Oberon" Overture

C. M. v ウェーバー

C. M. von Weber

ウェーバーの主題による交響的変容

P. ヒンデミット

Paul Hindemitt

Symphonic Metamorphosis of Themes by Carl Maria von Weber for Orchestra

- I: Allegro
- II: Turandot, Scherzo, Moderato
- III: Andantino
- IV: March

----- 休憩 Intermission -----

交響曲第7番 イ長調 作品92

〈新ペーレンライター原典版使用〉

Symphony No. 7 A-major Op. 92

L. v. ベートーヴェン

L. van Beethoven

- I: Poco sostenuto-Vivace
- II: Allegretto
- III: Presto - Assai meno presto
- VI: Allegro con brio

《製作・修理・毛替・販売》
弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花畑町3-96-4 NATC 桜木町ビル6F ●営業時間/AM10:00~PM7:00(日・祭休み)

プログラム・ガイド

歌劇「オベロン」序曲

C. M. v. ウェーバー (1786-1826)

歌劇「オベロン」はドイツロマン派歌劇創始者C.M.v.ウェーバーの最後のオペラ作品です。34歳の時に完成したオペラ「魔弾の射手」の大成功でヨーロッパ中の名声を得ていた彼にロンドンのコヴェント・ガーデン劇場が依頼して生まれました。しかし、ウェーバーは依頼を受けた時すでに患っていた肺病を悪化させ、皮肉なことに初演のわずか2ヵ月後、かの地ロンドンで他界したのでした。享年40歳の若さでした。

このオペラはドイツの詩人ウィーランドの叙事詩を題材にしたものです。妖精の国の王様オベロンとその妃の夫婦喧嘩に地上の若い騎士が巻き込まれ、幾多の災難に遭われます。その困難の中で出会った最愛の女性とめでたく結ばれ、妖精夫婦も仲直りするというお話です。

序曲では劇中の主要動機（旋律）が巧みに配置され物語を暗示しています。（この手法はドイツオペラの頂点ワーグナーにも受け継がれて数々の名作が生み出されました。）中でも冒頭のホルンが奏するオベロンの魔法の角笛、中間部に登場するクラリネットによる騎士の愛の歌などは大変印象的で、ドイツロマン派の香りが色濃く表現されています。

ウェーバーの主題による交響的変容

P. ヒンデミット (1895-1963)

“音のオブジェ”これが筆者が初めてこの作品を聴いたときの印象です。「作曲家はこの音楽で何を言いたいのだろうか？」などと眉間に皺を寄せて考えず、突然の変化に驚かされたり、ジャズのビート感に乗ったり、薄気味悪さにぞくぞくしたりしながら聴いてみてください。きっと自然に耳に入ってきてお楽しみいただけると思います。

この作品は、近代ドイツの大家ヒンデミットがナチスの圧政から逃れアメリカへ亡命していた1943年に、ニューヨーク・フィルハーモニックの委嘱により作曲されました。ヒンデミットは20世紀前半を代表する音楽学者でもありました。当時シェーンベルクやウェーベルン等が作り続けた十二音階や無調の最前線の音楽に一般大衆が付いて行けなくなってしまう現状を憂い、もっとわかり易い音楽を作って聴衆不在の現代音楽の流れを変えようと、学者の立場から提唱していました。

この作品もそういった考え方から作られ、ロマン派ウェーバーの主題をほぼ原型通り使うこと、不協和音を多用する中にも調性をしっかり守っていること、リズムを明瞭なものにすること、バハの時代からの伝統である形式をしっかりと取り入れることなどが意識されています。

各楽章の主題は1,3,4楽章はピアノ連弾のための作品から、そして2楽章は劇音楽「トゥーランドット」の序曲と行進曲から採られています。旋律は原型をほぼそのまま使いながら、原曲には捕らわれない自由で楽しくも不思議な味付けを施しています。

第一曲はハンガリーの舞曲風で土臭い雰囲気。**第二曲**は中国趣味のメロディーに絡みつくトリルや三連符の連続から、後半は一転ニューヨークを意識してビッグバンドジャズ風にシンコペーションやブルノートを多用します。**第三曲**は静かで神秘的な雰囲気の中、後半にフルートによる鳥が自由奔放に飛び交うようなオブリガートが印象的。**終曲**は元々重々しい葬送行進曲であるのを、アップテンポの華やかでカッコいいコンサートマーチに仕立て上げています。

プログラム・ガイド

交響曲第七番

L. v. ベートーベン (1770-1827)

「新バージョンライター原典版ってなに？」とお思いの方は多くいらっしゃるでしょう。そのところから解説を始めましょう。

ベートーベンの交響曲を出版という形で大衆化させたのはドイツのブライトコップフ社でした。その楽譜が通常今日の演奏会でも使われています。しかし、ベートーベン研究者の間ではこれらの楽譜には写譜ミスが多かったり、勝手に解釈して楽譜にされたりして作者の意図を離れてしまっている部分が多いとされています。そこでここ20~30年位の間に研究者たちは、手書き譜の見直しやその後の編纂過程にベートーベンがどう関与していたかなどを徹底的に調査し直しました。そして研究者の一人ジョナサン・デル・マルという人の研究の成果を出版したのがバージョンライター社の新原典版なのです。

一般的に使われてきたブライトコップフ版とどこかが異なるのか？最も多い相違点はベートーベンの乱筆から生じているスラーの範囲の問題です。スラーがどの音から始まってどの音までかかっているのか、これは演奏上も聴く側からしても影響が大きいところです。その他に伸ばした音の長さ、弓奏かピチカートか、極端な例ではリズムが違ってくることもあります。

そしてその中でも特に聴く側に大きな影響を与える要素はテンポです。ベートーベンの楽譜の多くにはメトロノームの速度指定が表記されています。これは当時交流のあったメルツェル氏から同氏が開発したメトロノームを贈呈され、いたく気に入っていたためでした。ところがベートーベン後の指揮者達は、その時代の流行や気分によって「こんなテンポ指定をベートーベンがするはずはない」とか「こっちのテンポの方が自然だ」と理由を付けて作者の指定から大きく異なるテンポで演奏されることが多くなってゆきました。(もちろんすべての作品・楽章がそうだったわけではありませんが・・・)

今回お届けする第七番の交響曲にも例外無く各楽章毎にメトロノームによるテンポの指定が記されています。この演奏会では三原明人先生のご指導のもと、ほぼ作者の指定に沿ったテンポで聴くことができます貴重な機会となります。各楽章毎の速度指定は次の通りです。これを参考に新しい(本来の?)ベートーベンの発見をお楽しみください。(M.M記)

第一楽章 Poco sostenuto ♩ = 69 ⇒ Vivace ♩ = 104

第二楽章 Allegretto ♩ = 76

第三楽章 Presto ♩ = 132 ⇒ Assai meno presto ♩ = 84

第四楽章 Allegro con brio ♩ = 72

世界で一番小さいデパート

アトリエ K&T

古布ちりめんの香袋など
オリジナル商品、かわいもの、素敵なもの、
両手いっぱいあります!

営業時間/11:00 ~ 17:00 定休日/月、火曜日
〒248-0003 鎌倉市浄明寺3-2-27 TEL.0467-22-2615

フリーダイヤル0120-50-2615
<http://homepage3.nifty.com/k-t/>

団員出演者名簿

常任指揮者: 古谷 誠一 コンサートマスター: 五味 俊哉 マネージャー: 芥川 敬/芳賀 節子/森久仁子
 名誉団長: 日比谷 平一郎 事務局長: 田中 幸一 会計: 曾根 民子
 団長: 山本 賢二 副団長: 小原 克馬/河原 寛 ライブラリアン: 三門サカエ

<p>1st Violin</p> <p>有田 静 遠藤 勝智 小原 純子 川西 清美 ●河原 寛 桐本 圭三 五味 晶子 ●五味 俊哉 重兼 文恵 菅井 直介 高橋いけ子 中村 順子 日高理恵子 山岡 祐介 油谷 伸一</p> <p>2nd Violin</p> <p>新井 俊成 池田 真美 石橋 智子 井上 康男 大谷多満江 大野 孝士 ●白水 千晶 曾根 民子 ●高橋 良子 富岡 陽子 中橋美木子 新倉 慶子 西村清之助 芳賀 節子 馬場 潔子</p> <p>Bass</p> <p>中橋美木子 青木 俊憲 松沢 定彦 大内 達郎 佐藤 正</p>	<p>八木 育江</p> <p>Viola</p> <p>族島 純子 小原 克馬 笹尾 英昭 佐々木敬史 澤田 淳也 澤田 由美 清水 正義 田中 順子 中村 恵 日比谷平一郎 三門サカエ ●水上 清</p> <p>Cello</p> <p>●飯田 達男 梶 淳子 佐藤 洋子 重兼 寿夫 鈴木 達広 田中 幸一 中野太一郎 西山 優子 山田 由紀 若山 五郎</p> <p>Bass</p> <p>飯田 登 青木 健太 ●松木 祐子 矢吹 紀子</p>	<p>中村 安孝 ●原 宏造 福高 晋哉 丸 陽子 矢野 健均 渡辺 均</p> <p>Piccolo&Flute</p> <p>菊竹 秀夫 ●高橋 弘子 高田 由花 山田美奈子</p> <p>Oboe</p> <p>●紅林 優志 桑野 若菜 ●中橋 英純 山本 賢二</p> <p>Clarinet</p> <p>伊澤 力 片山顕知子 鈴木 美緒 前沢 実 ●望月 俊哉</p> <p>Bassoon</p> <p>飯田 登 鹿倉 健太 ●松木 祐子 矢吹 紀子</p>	<p>Horn</p> <p>●芥川 敬 白井 賢司 芳我 明子 宮崎 敏幸 山崎 和之</p> <p>Trumpet</p> <p>●清水 里美 津金 勝枝 福地 聡栄 森 久仁子</p> <p>Trombone&Tuba</p> <p>有賀 貴志 板井 功志 日高 隆雄 ●府川 創作 ※ 煤孫さえ子</p> <p>Percussion</p> <p>明村 直美 今城 信彦 ●太田 純 養田 俊之 ◇重田 智之</p>
--	--	--	--

●:パートリーダー
※:団友
◇:賛助出演

通勤・通学服もおしゃれ着もすべて1日でOK!!

ドライクリーニングのクイックサービス (午前中にお出し下されば夕方迄に仕上がります)

ファッション クリーニング

スピード・クイック

●AM9:00~PM7:00 (日曜定休) 鎌倉由比ヶ浜店(22)1501 茅ヶ崎十間坂店(85)9209
 逗子本 店(71)3293 鎌倉大町 店(25)3722 茅ヶ崎共恵店(85)7310
 逗子駅前 店(73)8114 鎌倉深沢 店(32)2751 茅ヶ崎矢野店(86)6607
 逗子ハイランド 店(72)1131 藤 沢 店(22)5595 茅ヶ崎茶屋町店(87)2168

演奏会のご案内

♪第35回室内楽演奏会

7月12日(土)14時開演
鎌倉生涯学習センター
入場無料

♪第82回定期演奏会

11月1日(土)14時開演
鎌倉芸術館
指揮/須島勝人
チェロ/藤村俊介
チャイコフスキー ロココパリエーション
ラマニノフ 交響曲第2番 他

鎌倉名産

梅花
ほんかん

選井七緒 店主

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
(中のやビルB1)
TEL.(0467)22-4105
茅ヶ崎市海岸1-1-58
(大塚ビル1F)
TEL.(0467)87-1145

和風居酒屋 花のれん

◇営業時間◇

平日 PM4:30-AM12:00 休日 PM3:00-AM12:00
大晦日・元旦 休業

☎(0467)46-0080



信頼と確かな技術の店
メガネの専門店

八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談
お気軽に。



- 遠中近多焦点レンズ
 - 中近多焦点レンズ
 - 近近用レンズ
- あなたに合ったメガネ
を御調整致します。



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689
(22) 8963

健保・労災取扱

大船
接骨院

佐藤元一

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700代

輸入楽譜専門店

速い・安い・親切...

全国でご利用いただけます。



KAMAKURA
MUSIC CO.

カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766
FAX.0467-22-9755

〒248 鎌倉市雪の下1-10-5
1st Ave. Kamakura 3F
*定休日・木・祝日

クラリネット

レッスンしてみませんか?
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307

川下方 TEL.045-865-4885

片山クラリネット教室



© EIZIN SUZUKI

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階 医師 芋川英紀

電話 (24) 7273

SHONAN

湘南信用金庫